

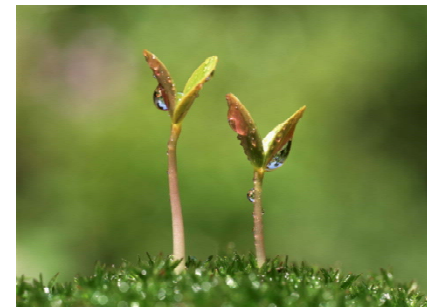
人むすびの場

第18回テーマ
“離島と東京を結ぶ”

日時	平成21年12月18日(金) 午後7時～9時
会場	スペースU
企画運営	“人むすびの場”づくり企画運営チーム

“人むすびの場”をともに創りませんか？

- 「むすび(産霊)」とは、ものを生み出す力のことを表す古語です。場には、不思議な力が宿ります。何かが生まれ行くエネルギーに満ちています。
- “人むすびの場”は、人と人の思い、能力・スキルを結び合わせ、創発のパワーを発揮して、新しい共生(ともいき)の世界を切り拓いていく、つながりづくりの場を意図しています。
- 私たちの世界は、「人と自然」「人と人」のつながりが薄くなり、様々な問題を抱えています。でも世の中には人財、知恵もそこかしこにあり、結び合うことで問題解決のパワーも生まれてくるに違いありません。
- そのため、お互いの思いと知恵を分かち合う対話と創発の場をご一緒に創っていきませんか？
- 場を活かし、つながりを創り、行動していきたい！ こんな思いをつなぎ、今まで自分のやりたかったことに、さらに発展的に取り組むきっかけづくりにしていただけたらと思います。
- “人むすびの場”を、単なる勉強会や異業種交流会とは考えません。「生きがい」とか「やりがい」とは何か、ちょっとしたことから世の中がよくなったら嬉しい・・・このような思いを分かち合うことから、何かが変わることを信じている人々の集まりにしたいと思います。
- 「人むすびの場づくり企画運営チーム」へも是非ご参画ください。
- 新しいアイデア・企画の提供など、もろもろご意見をお待ちします。



プログラム

- 19:00 ◆オリエンテーション 人むすびの場とは
“人むすびの場”づくり企画運営チーム 高重 和枝
- 19:05 ◆スピーチ
「離島と東京を結ぶ」
佐藤 喬さん(さとう たかしさん)
(海士(あま)町観光協会 研修生)
- 19:50 ◆人むすびカフェ
ファシリテーター 角田 知行さん
- 20:55 ◆本日のまとめ
21:00 終了
交流会(うさぎ)

「離島と東京を結ぶ」

ゲストスピーカー 佐藤 喬さん(さとう たかしさん)
(海士(あま)町観光協会 研修生)



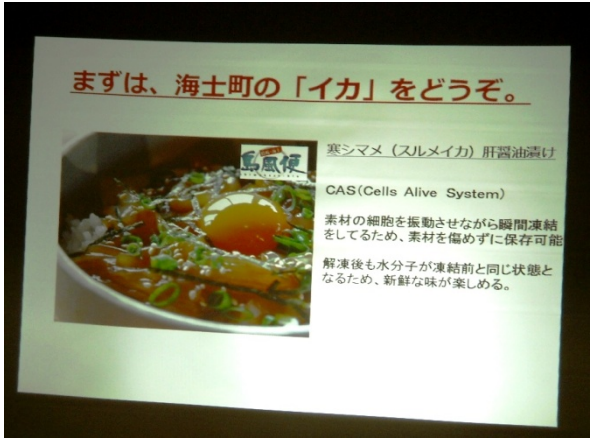
海士町だけではなく、離島専門チャンネルを設立して、
離島と都会を結んでいきたいです！

- 佐藤さんから気さくに「皆さんどうぞ、海士町のイカを召し上がりながら…」でスタートした場。さすが、行商人。
- 2009年から海士町観光協会の研修生として「離島キッチン」を立ち上げました。そのきっかけは、2009年2月に海士町が「行商人募集します！」の求人広告を掲載。全国から87名の応募があり、2名が研修生として採用され、佐藤さんは、東京の行商人となりました。
- 2009年のミッションは、「やりたいことは、自分で見つけること」。
- そこで、離島専門チャンネル設立に向けて、住民からの出資によるCATV設立が大きな目標。出資していただく金額に応じて、利益を分配し、離島の情報は情報発信・ショッピング・旅行など多ジャンルにわたる業務を行っていくことを構想。
- しかし、まだまだ時期尚早をいうことで、まずは「食」をテーマにしようと海士町だけではなく、他の離島の食事も提供し、全ての離島のPRを担えるような車をつくり、「離島キッチン」として、移動販売を始めました。
- 海士町のさざえカレー、ふくぎ茶、奄美大島の奄美鶏飯、種子島の安納焼いもなどの他、家島の天然あなご丼を商品開発中。試食させていただいた寒シマメ(スルメイカ)の肝醤油漬けは、CAS(Cells Alive System)という素材の細胞を振動させながら瞬間凍結した素材を傷めず保存する方法で、解凍後も新鮮な味が楽しめるという逸品でした。
- 離島キッチンの役割を5つ考えています。①離島の食事の提供、②離島の観光情報の提供、③新商品のマーケティング、④島の求人情報の提供、⑤固定店舗の設立準備により、全国の離島の方々に、「離島キッチン」を自由に利用してもらい、<場所の創造><仕事の創造><ライフスタイルの創造>をしていきたいです。
- これからは、都会と離島というような2地域に住むというライフスタイルが面白いと思います。実際、島前高校の魅力化プロジェクトなど若者が集ってきています。
- 2010年は、固定店舗をオープンさせ、段階的に離島専門チャンネルを設立していきたいという夢を語ってくださいました。

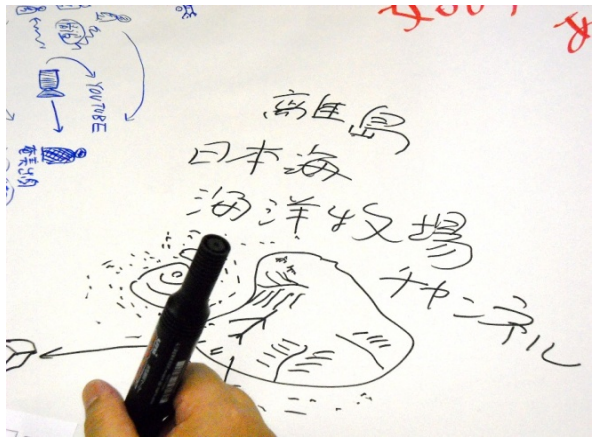


【佐藤 喬さん 経歴紹介】

秋田出身 33歳 B型 おとめ座。1955年秋田高校卒業後上京。2001年早稲田大学大学院理工学研究科中退。2004年テレビ番組のディレクター(NHKのドキュメンタリーなど)。2007年広告のプランナー&ライター。2009年海士町観光協会・研修生として「離島キッチン」立ち上げ。現在、千葉市に在住。3歳の息子と0歳の娘あり。



人むすびカフェ



本日の感想①

* 今日、どんな気づきがありましたか？

- ・新しい事を起こすエネルギーは「志」や「夢」がゆり動かすのかナ・・・。
- ・今の世の中の状態に関してとてもおもしろいかも。
- ・新しいメディアの取り組みをやっぱりしてみよう！と思いました。
- ・何かを求めて動くことが大事
- ・10人10色で各人のユニークな考えが聞けて大変面白かった。
- ・自分の思いを簡単にまとめて人に伝える技術の必要性を痛感した。
- ・(若者は)「普段見れない世界」を求めている。
- ・活用されていない離島資源の利用
- ・刺激的な生活をする。そうした住空間をつくりたいというライフスタイルがこれから広がりそう。
- ・自分のビジョンに似ている方がいた。
- ・島の公務員の方が給料3割カットした裏にはもっとドロドロした必然性があったのではないか？という意見
- ・いろいろな考えがあっておもしろい。
- ・ライフスタイルに移動性がこれから重要であることが理解できた。
- ・離島は元気！新しいことをはじめる時に考え方がそれぞれ違って面白かったです。
- ・日本の端っこで頑張っている島があり、まだまだ日本も希望がすこしある。
- ・「価値」は変わる。
- ・離島人気に驚きました。プロジェクト具現化
- ・日本のisland-channelは如何？

本日の感想②

* 一番、印象に残ったこと(キーワード)はどんなことでしたか？

- ・離島キッチン
- ・公務員が30%の賃金をcutして海士町だけではない離島全体を視野に。対価を求めないのだろうか。
- ・志、ビジョン、希望がモチベーションの継続になる。
- ・行商人
- ・志、ビジョン、ライフスタイル、都会と離島との複合生活、田舎・都会での人間関係のむずかしさ
- ・離島・・・でも基本は同じ
- ・自然とサイエンス
- ・「行商人」一人と人をつなぐ ⇒ 非常にいい言葉になる
- ・輸送コスト、石油脱却、ライフスタイル
- ・「危機感をもっている人がいるのが魅力」
- ・旧住民の思いと新住民の思いのバランス
- ・“行商人”奥の深い言葉だということが良くわかりました。
- ・離島ー豊か
- ・情報発信力、コミュニケーション
- ・「捨てる」ものに目を向けること。
- ・人と自然の力

本日の感想③の1

* その他、よかったこと、残念だったこと、質問など、ご自由に。

- ・いろいろな人のライフスタイル+ 価値観を聞いたこと。
- ・海士町の佐藤さんの取り組みは、ずっと町の予算で行うというよりはやはりビジネスモデルとして確立させることが必要とされているのだろうな、と思いました。
- ・この場所でのワールド・カフェに初めて参加しました。ありがとうございました！
- ・話を聞けなかったので内容がいまひとつ分からない状況でした。
- ・もう少し時間が欲しかった。
- ・やはり希望が一番
- ・イカを食べられたこと。島に関係、関心のある人に出会ったこと
- ・さて、これから島をつなぐネットワークが力をもつ時代になるのか、もう少し時間をかけて話したかった。
- ・ワールドカフェのスピーカー以外がしゃべらない(口をはさまない)のが、意見をしっかり吸い上げる良い方法
- ・離島好きの方々にお会いできたこと
- ・島にまねいた側の人と参加した側の二人の話があるとより良かった。

本日の感想③の2

* その他、よかったこと、残念だったこと、質問など、ご自由に。

- ・Iターンの方の失敗事例とか、苦労話も聞きたかったです。
- ・色々なバックグラウンドをお持ちの方が沢山いらっしゃいましたので、楽しくお話をうかがうことができました。
- ・会社では目的(課題や問題への対処方法の考案など)をしぼった会議ばかりなので、このように一方向にしばられない会議(?)にはとまどいました。
- ・学校の試験場みたいな先生が良かった。
- ・新しく出会えた方がいたので、それが良かったです。

皆さん、ご一緒に場をつくってくださってありがとうございました。